



道 建 労 協 機 関 誌



Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U.)

道路建設産業労働組合協議会

〒104-8380

東京都中央区京橋1-19-11 (日本舗道労働組合内)

電話03 (3562) 5857

98年度の活動を振り返って



議長 日高 純三

98年度も残すところ僅かとなりました。98年度の活動を振り返りますと97年度のそれと内容が明らかに違うことに気付きます。つまり我々の活動は取り巻く環境の変化に対応して特化しているということです。97年度は公共投資の削減方針が打ち出されたため働く立場で「雇用確保」要請活動を各政党や関係官庁に実施しました。また、建設省労働資料対策室編集の「労働資料月報」へ「行財政改革と建設産業」というテーマで寄稿したり日刊建設工業新聞での座談会に参加するなど外部への意見発信に力を注ぎました。

98年度は我々の活動と時を同じくして、景気の低迷に対する世論が高まり、結果的に国は経済対策として四十兆円の予算化を行いました。建設産業においても受注環境は厳しいながらも急激な公共投資の削減は繰り延べされた訳です。ところが、企業は体質強化のためコスト削減とともに各種制度の見直し、給与制度の改訂、さらには人員削減などを実施し始めました。ゼネコンとは比較になりませんが道建労協加盟単組各社でもそれがダイナミックに行われています。そのような環境の中で98年度の道建労協の活動は「単組への支援」と道建労協自体の「活動の見直し」に重点を置くことになりました。

「単組への支援」については①会社からの制度改訂申し入れに對しお互いの資料や情報を交換し有効活用を図ったこと、②「労働条件変更の問題点」について労使で理解を深めるセミナーを開催したこと、③中央執行委員に単組代表者を加え加盟単組企業の人事担当役員クラスとの産別労使懇談会を開催したこと、などが挙げられます。

「活動の見直し」については以下の内容が挙げられます。①中央執行委員会に組織対策・教宣・広報・調査の各専門部を置き活発な活動が展開しました。②単組代表者会議を年

二回から四回に増やし、答申「道建労協の目指すもの」に関する活発な議論を行いました。③単組代表者会議で地協の議長を交え、地協役員に実施したアンケートをもとに「地協活動の見直し」を検討しました。④地協のない地域での役員交流会を四国で単独に、北陸で初めて開催し、全地域での開催を実現しました。⑤J-Vオルグを上信越・北陸道の高速道路工事の七J-V(所長クラス十七名)に実施しました。⑥労働組合未組織企業へのアプローチを実施し、お互いの信頼関係構築に努力しました。

目に見えた大きな前進は見られないものの、組織のあり方の方向として建設産労懇の連携強化が重要であるとの道建労協内部での討議を踏まえ、建設産労懇運営委員会で作成し、十月十五日の第一回総会の運びとなりました。

99年度の道建労協は98年度の活動を発展的に継続しながらも「夜間工事」や「国道・高速道路工事」などでの問題点、そして「雇用問題」についても外部に向けて発信していきます。ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

新しいタイトルロゴで発行された「PAVE」が皆様のお手元に届く頃は、おそらく梅雨も明け明るい夏の太陽が照り輝いていることでしょう。我々の生活環境もそのような明るい状況に早急に回復することを願ってやみません。

定期大会開催 第14回定期大会

1年間の総決算を行う、第14回定期大会が、7月30日(金)に、ホテルラングウッドで開催されます。この機関誌がみなさんの手元につく頃には、すでに開催されていることかも知れませんが、各単組から選任された、代議員の方々による、熱心な討議がなされることでしょう。さらなる飛躍をもとめて執行部も一層の団結を図っていくつもりです。みなさまの絶大な支援をお願いするとともに、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

会計制度変更

(会計ビッグバン)

国際基準に対応した会計制度の変更が、日本の企業経営や労使関係に大きな変革を迫っており、その影響が前年度3月期決算の発表に表れ始めている。

制度変更の柱は、連結決算重視への移行、資産の時価評価、税効果会計の導入と年金債務の財務諸表への計上等である。企業にとって、これら制度変更の影響力の大きさは「会計ビッグバン(大改革)」と呼ぶにふさわしいものである。ただ注意すべきは、「会計ビッグバン」が企業活動そのものに影響を与え、長年変わらなかった企業システムを変革する潜在力を秘めていることである。言い換えれば、「会計ビッグバン」に適した経営モデルを構築できない企業は、21世紀に存続しにくくなる。

今後、道建労協ならびに各加盟単組もこれらの制度変更が企業に与える影響を理解し、次世紀に向け、新たな労使関係のモデル構築を検討していく必要がある。

(大成ロテック労組 森平)

フリー

ウェイ

単組代表者連絡会議

1999年7月2日に長崎において、今年度第4回目の単組代表者連絡会議が開催された。今年度の活動報告、99春闘結果の報告、議案書の検討、組織対策が話し合われた。

今年度の活動報告では、組織・教宣・広報・調査の各部会による活発な活動が報告された。今後も継続的な活動が望まれるところである。

99春闘の報告については、交渉経過が生々しく披露された。各単組とも厳しい企業業績から交渉が難航し、ほとんどの単組に長期交渉化の傾向が見え、更に十分な賃上げ、一時金の獲得が出来なかった報告が相次いだ。また、道建労協への要望としては各単組の状況の違いから要求基準の検討、給与制度の情報の共有化が上げられた。

来年度の活動方針を決める議案書の検討は、「運動の基調」「個別運動方針」について活発な意見が出された。特に組織の問題について今後の道建労協の目指すものを形作るため次の議題の組織対策を含めて、討議が繰り広げられた。

単組代表者連絡会議に併せて今年度2度目の地協代表者会議も行われた。地方協議会の一層の活動の充実を目指し、地協幹事会と定期総会のあり方について討議された。本部による地協への活性化の具体的提案がなされ、地協の自主性による活動の充実を目指すヒントとした。

今年度は今まで年2回の単組代表者連絡会議を年4回に増やし、道建労協の組織の検討を重ねてきた。道路建設産業を代表する労働組合として、更に建設産労懇の一員として他の日建協、建設連合などの産別と共同で建設業の労働組合の代表として運動を展開していくことを確認することが出来た。来年度も引き続きこの会議の場を持ち、道建労協と加盟単組、また加盟単組間同士がお互いに緊密な連携と情報の共有化を一層進めて、実りのある活動を目指していきたい。

事務局長 長野 滋（前田道路労組）



多数の女性の参加！

中部地協「セクシュアル・ハラスメント・セミナー」

中部地協主催の「セクシュアル・ハラスメント・セミナー」が名古屋の中心地「金山」で、開催されました。6月25日当日は、梅雨のうっとおしい天気にも関わらず、男性19名、女性17名が今話題のこのテーマについて共通の認識を持つと若い組合員を中心に集合しました。今回の講師は朝日大学の教授で、弁護士でもある大塚鎭子先生です。この先生、中部地区ではラジオ番組にも出演されており、ちょっと地元では名の通った方です。写真が白黒で残念ですが、まずは先生の艶やかな服装に受講者は歓喜の声。

セミナーでは、女性労働年表を使ってこれまでの女性に関する政策や法律そして社会状況について説明を受けた後、事例集より職場で実際に起こり裁判となった事件について解説を受けました。しかしその慰謝料が10万円から205万円と以外に安い（事例集の中で）のに驚きました。セクハラと考えられる言動について、まずレッドカードから、性的要求を条件に雇用や考課に関して利益・不利益をもたらすこと、個人接触、デートの強要、ストーカー行為など。そしてイエローカードは、「○○ちゃん」、「女の子」と呼んだり、プライバシーの侵犯、宴会時のお酌の強要などがあります。

セミナー終了後、大塚先生、本部から日高議長、丸山中央執行委員を交えて参加者全員で懇親会を行いました。僅かな時間でしたが、男女がそれぞれの立場に立って相手の事を考えられることができた貴重な一時でした。またこれからも「職場でのコミュニケーションを大切にしよう」と再認識させられるセミナーであったと思います。 中部地協 事務局長 久田和人（全大有労組）



講師 大塚鎭子先生



熱心に聴き入る女性組合員

建設産労懇セミナー

6月14日（月）14時30分よりホテルラングウッド（東京都荒川区）において建設産業労働組合懇話会（建設産労懇）主催のセミナーが開催された。セミナーは道建労協をはじめ建設産労懇加盟の各単組役員や企業より200人をはるかに超える参加となった。イズミ・ペンションリサーチの和泉信俊氏を講師に迎え、労働者にも関心の高い「年金の仕組みと改革の動向」について講演をいただいた。はじめに、資産運用低迷による予定利率との乖離、死亡率改善によるコストアップ、企業の負担能力の低下等、今日年金制度がかかえる問題点とその処方箋について説明していただいた。こういった環境の中、97年度は14の年金基金が解散し、98年度は更に増えて18の年金基金が解散を強いられているという厳しい現実も知らされた。次に確定拠出型年金、いわゆる日本版401kについて説明をいただいた。確定拠出型年金制度は現在審議の最中であり、内容については様々な案がでており、確かなことはまだわからないということであった。ただ、いずれの方法を導入するにせよ、リスク負担を誰がするのか、運用選択肢の提示や投資教育を誰がするのか、また、国民がどこまで対応できるかという点を議論しなければならない。最後に今後の企業年金制度は柔軟な予定利率の設定への見直しや、運営管理体制の強化などを図らなければならない。そのためには企業の労使によるマネジメントが不可欠であるという提言をいただいてセミナーは終了した。

副議長 工川 靖（東亜道路労組）

地域交流会各地区で開催！

四国地区交流会に参加して

私は昨年広島市で開催された道建労協主催の中国・四国地区合同の交流会に初めて参加し、加盟単組の方々と情報交換したことが今までにない新鮮さを感じられました。

今年は四国地区単組で交流会を香川県高松市で6月3日開催することができ、今回は会場選び、参加者の把握等の役割を担わせて頂き、道建労協は「私に関係ない」と思っていたものがガラリと変わり大変身近なものとなりました。

また、今までは「同業者」をライバルとしかイメージできなかったのですが、今回の交流会を通して同じ組織に加盟する組合員同志及び同時代を構成する共同体としての仲間意識が感じられました。

それに、何よりも「つながり」を通して世界の広がりを実感され、嬉しく思いました。



西田 末勝（日本舗道労組）

中国地区交流会

平成11年6月4日（金）広島市のメルパルクにおいて第5回目の中国地区交流会が開催された。道建労協本部から日高議長、森平副議長、長野事務局長の3名と8単組15名が出席した。

自己紹介、単組毎の活動・問題点の報告が行われた。各単組とも組合に対する意識が薄れていることや時短に対する取り組み方法、中国地区は山陽・山陰の5県と交通の不便さや範囲が広く一同に会する機会が少ない等地域性の意見もあり、予定時間が大幅にオーバーとなる活発な意見交換が行われた。

また今後、建設省職員組合と意見交換出来る場を設けるという本部からの提案や次の交流会開催方法、更に交流を深める為にレクリエーション（ボウリング大会）を開催する事を決定し閉会となった。



小山 郁文（大成ロテック社組）

九州地区単組交流会

平成11年6月5日（土）福岡市の八仙閣にて第5回目の九州地区交流会が開催され、6月初めではありますが、日中は30度近くになり蒸し暑い中、本部役員を含め1単組を除く9単組21名の参加にて行われました。

長野事務局長の司会で行われ、自己紹介、道建労協本部の活動紹介、各単組・支部の活動報告及び問題点の報告が行われ、中でも、どの単組でも抱えている時短問題を中心に各単組の時短管理の取り組み方について活発な意見交換が行われました。

最後に、今後の九州地区の活動について、昨年同様、年1回の交流会と一般組合員の参加できるレクリエーションとしてボウリング大会を開催し、今後も継続していく事を確認し閉会となりました。



福田 幸治（東亜道路労組）

東北地区交流会

去る6月28日、仙台市のワシントンホテルで組織・対外活動の一環としての東北地区交流会が開かれました。東北地区での単組交流会は今回で3度目の開催であり、9単組16名と本部4名の20名の出席者があった。

交流会は出席者の自己紹介から始まり、道建労協本部より活動の紹介、そして食事を摂りながら各単組の活動の紹介が行われた。最初は緊張の面もちであったが次第にうち解け合い単組間での質問が飛び交い、様々な情報の交換が行われた。東北はエリアも広く組合員の参加意識の高揚に対し支部役員のご苦勞が窺えた。

今後は、東北地区交流会としてレクリエーションを開催し、また本部より紹介のあった建設省職員組合との意見交換会などを通じ単組間の交流が図られることを期待したい。



田村 義弘（前田道路労組）

北陸・上信越地区交流会

去る平成11年6月11日（土）午後6時30分から新潟市内にて北陸・上信越地区単組交流会を開催いたしました。昨今、地協組織がない地区も次々と単組交流会を開催し、地域単組の繋がりを確認し強固にしていくなかで、唯一、単組交流会を開催していない北陸・上信越地区では道建労協の活動、そして存在も影の薄いものでした。今回、満を持して第1回単組交流会開催にこぎつけた訳ですが、地域的に関東の営業エリアに属しているためか、北陸・上信越地区に出先を持たない単組が多数あって、出席いただいたのは4単組のみでありました。しかし、3時間に及ぶ意見交換会では各単組の労働環境や春闘への取り組み方についての現況報告、そして地域の共通する問題点等が出され、今後の単組組合活動に大変参考になり、とても有意義な交流会となりました。同じ業種で汗を流す仲間、所属単組は違っても働く上で共通した問題点は多いはずです。今後も積極的にこういった場を設け意見交換することと、一般組合員が参加するレクリエーション等を開催し、地域単組の交流をしていければと思います。

佐藤哲臣（日本舗道労組）



「PAVE」タイトルロゴ決定!

山下さん(全大有労組)ダブル受賞

昨年の2月に、道建労協機関誌の新しいタイトルが「PAVE」と決定しましたが、その後タイトルロゴを募集してきました。その結果各単組の皆様から、59件のご応募を戴きました。

99年7月7日(水)に開催した中央執行委員会にて、最終審査を行いました。その結果、上位3作品が以下の通り決定しました。

最優秀(5万円) 全大有労働組合 山下 正則さん
優 秀(2万円) 全大有労働組合 鍋島 美穂さん
優 良(1万円) 東亜道路労働組合 鈴木 秀明さん

これを受けて、今回発行号から新ロゴを早速使用させていただきました(1面のタイトル参照)。なお山下さんは「PAVE」の名付け親でもありまして、タイトル名とロゴとのダブル受賞となりました。おめでとうございます。

また、上記3名の皆さんには、賞金をそれ以外の皆さんには粗品をお送りいたします。



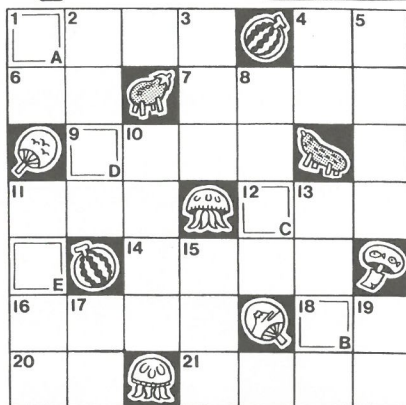
道路建設産業労働組合協議会(道建労協)加盟単組一覧表

(1999年7月現在)

単 組 名	設立・組合員数	本部住所・TEL・FAX
大林道路 職員組合	昭和50年2月1日 1,220名	〒107-0062 東京都港区南青山 1-24-1 TEL 03-3796-6760, FAX 03-3796-6766
全大有 労働組合	昭和50年8月20日 240名	〒460-0022 名古屋市中区金山 5-14-2 TEL 052-882-9730, FAX 052-881-8687
大成ロテック 社員組合	昭和46年1月15日 1,190名	〒104-0031 東京都中央区京橋 3-13-1 TEL 03-3564-3164, FAX 03-3561-7075
東亜道路 労働組合	昭和50年10月18日 1,050名	〒106-0032 東京都港区六本木 7-3-3 TEL 03-3403-9355, FAX 03-3403-9380
東京舗装工業 社員労働組合	昭和35年6月 320名	〒101-0021 東京都千代田区外神田2-4-4 TEL 03-3253-9861, FAX 03-3253-8049
日本舗道 労働組合	昭和48年12月16日 2,340名	〒104-8380 東京都中央区京橋 1-19-11 TEL 03-3563-6744, FAX 03-3535-4810
フジタ道路 職員組合	昭和63年11月22日 360名	〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 TEL 03-3271-7961, FAX 03-3271-7965
不動建設 労働組合	昭和51年8月 50名	〒110-0016 東京都台東区台東 1-2-1 TEL 03-3835-0219, FAX 03-3835-0270
前田道路 労働組合	昭和27年3月17日 1,670名	〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL 03-5487-0050, FAX 03-5487-0051
三井道路 労働組合	昭和51年8月15日 330名	〒108-0023 東京都港区芝浦 2-17-13 TEL 03-5765-7791, FAX 03-5765-7694
道建労協 本 部	昭和60年12月21日 (8,770名)	〒104-8380 東京都中央区京橋 1-19-11 TEL 03-3562-5857, FAX 03-3535-4810

クロスワードパズル

出題 ●モロズミ勝



【解き方】カギをヒントにマス目をうめ、次に二重マスに入れた文字をABC...の順に並べてください。それが答えです。

▼ヨコのカギ

- ① 8月6日——原爆記念日
- ② サザエ・アサリ・シジミ
- ③ 高い建物、五重の——
- ④ トキの佐渡が島は——県
- ⑤ 女性のいちばん高い歌声
- ⑥ 寝るとき頭をのせる
- ⑦ 歯の表面につく石灰分
- ⑧ 地面より下にある部屋
- ⑨ 母親の腹の中
- ⑩ つつくとヘビが出る場所
- ⑪ シルク、日本語では?
- ⑫ 値打ちがない雑多な品物

▲タテのカギ

- ① —のウワサも七十五日
- ② 英語ではキャンドル
- ③ フィリピンのは首都は?
- ④ 百万石の城下町
- ⑤ 山の頂上。てっぺん
- ⑥ カバのあるブタ?
- ⑦ 白金(はつきん)
- ⑧ 目をパチパチとまたたき
- ⑨ ムダ使いをやめて節約
- ⑩ え。画。——教室
- ⑪ 十二支動物の第十一番目
- ⑫ ネコに小判、——に真珠

答え A B C D E

〈応募方法〉下記を明記してお送り下さい。正解者の中から抽選で粗品をお送りします。たくさんのご応募お待ちしております。

- 回答
- 賞品送り先住所・氏名及び所属単組名
- しめきり 9/14
- 今月の紙面でよかった点、気づいた点がありましたらご意見もぜひお寄せ下さい。
- 宛先 〒104-8380 東京都中央区京橋1-19-11 日本舗道労働組合内 道路建設産業労働組合協議会『PAVE』宛 FAX 03-3535-4810

※発表は次号(10月発行予定)

前回の物知りクイズ(第45回PAVE)の当選者が決定いたしました。今回は大変多く、54名の方のご応募があり、抽選により以下の15名の方々が当選となりました。当選された方には粗品をお送りいたします。

当選者 水田 貴美 (大林道路職員組合)
北川 房代 (全大有労働組合)
梯 すみ代 (全大有労働組合)
西川 久美子 (全大有労働組合)
佐藤 勝彦 (大成ロテック社員組合)
戸田 尊子 (大成ロテック社員組合)
大嶋 実寿々 (東亜道路労働組合)
深澤 明夫 (東亜道路労働組合)
溝本 シオリ (東京舗装工業社員労働組合)
坂上 せつ子 (日本舗道労働組合)
中野 等 (日本舗道労働組合)
原 まゆみ (日本舗道労働組合)
遠藤 豊 (フジタ道路職員組合)
杉山 大 (前田道路労働組合)
神崎 洋 (前田道路労働組合)

これからも物知りクイズをよろしくお願いいたします。

編集後記

これから暑くなり、ビールがおいしい季節になりますが、ビールをよりおいしく飲むために、ビールの温度は摂氏7、8度ぐらいが適温で、冷蔵庫で2、3時間冷やしたビールを、全体の4分の1ぐらい泡になるように静かにグラスに注ぎ、その泡が消えないうちにググッと一気に喉で飲む。これがおいしいビールの飲み方だそうです。

暑くなりますが、健康に気をつけ飲み過ぎに注意しましょう。
(三井道路労働組合 澄川 武)